

いこいの広場



令和2年 7月 1日号

No.445

編集・発行

さとっこホール

一関市中里市民センター

TEL 21-2152

E-mail: nakacen@icn-net.ne.jp

中里地区防災訓練 実施

主催 中里まちづくり協議会及び各自主防災クラブ

期日 令和2年6月21日(日)

対象 地区全住民

《午前の部》

自宅から避難所までの避難路及び地域内の危険箇所・防災施設などをウォークラリー形式で確認しました。

児童・保護者の他、未就学児を連れた家族や中里小学校の教諭など合せて約100人の方に参加いただきました。

危険箇所等については、消防団・地域の方から説明をしていただきました。今では遊水地堤防があるので洪水の危険は少なくなりましたが、過去の洪水で屋根まで水がついた写真などを見せていただくなど、浸水などの危険について再確認できた場所もありました。

また、ゴール地点の市民センターには起震車を設置し、「地震の強さ」を体感しました。東日本大震災は記憶に新しいと感じている方も多いと思いますが、子ども達の記憶にはありません。地震や洪水の経験や備えについて、語り継ぐ必要性を確認しました。



《午後の部》

新型コロナウィルス感染症に対応した安全で安心できる避難所設置・運営を目指し、訓練を行いました。

今年は、3密を回避するために、自主防災クラブごと(3会場)で実施しました。

「複合災害」に対応できるよう、区長・自主防災クラブ本部長と研修会やワークショップを重ねて準備してきました。

新型コロナウィルス感染症に対応した避難スペースは、一人当たり「4m²」の空間が必要となります。また、一般の避難者スペースとは別に、「発熱・咳等の症状者」と「濃厚接触者」専用スペースを新たに確保しなければなりません。

これまでと違い、収容できる人数が極端に減ってしまうことを、訓練を通して確認しました。また、感染対策として、「検温」をして、発熱者と健常者に分けて受付をするなど「動線の確保」にも注視しました。

参加者で「担当者」、「避難者」と役を決めて、実施してみたところ、戸惑うことが多く様々な課題が見えた訓練でした。

安全で安心できる避難所を運営するようにするには、「効率化を図る」「安全対策の共有」などを何度も話し合い、訓練する必要性があります。この訓練を通して、地域の防災力は「常にコミュニケーションを図ること」「人と繋がることの大切さ」を改めて確認できました。

7月

インフォメーション
INFORMATION

- 1日・中里大学芸能講座
・いきいき100歳体操
- 3日・子ども教室13時～
- 6日・中里大学陶芸講座(移動研修)
・子ども教室13時～
- 7日・中里大学健康講座
・子ども教室13時～
- 8日・中里大学歴史講座(移動研修)
・いきいき100歳体操
- 9日・子ども教室15時～
- 14日・中里大学運動講座(七夕杯)
- 15日・いきいき100歳体操
- 16日・中里大学一般教養講座
・子ども教室13時～(虫と自然観察)
- 17日・子ども教室13時～
- 18日・子ども教室 沢登りに挑戦
- 20日・子ども教室13時～
- 21日・中里大学筆ペン講座(移動研修)
・子ども教室13時～
- 22日・いきいき100歳体操
・子ども教室13時～
- 27日・中里大学音楽講座
- 30日・子ども教室13時～



元気いきいき

100歳体操 再開!

7月1日(水)～

お待たせしました!

毎週水曜日 10時～

中里市民センター



防護服を着て熱咳等症状者受付(訓練)の様子↑

中里大学 再開しました！

新型コロナウィルス感染症予防のため休止していた中里大学は、6月1日の陶芸講座から活動を再開しています。今年度は新規受講生7名を含む64名の申し込みがあり、これまで休んでいた分を取り戻すようにどの講座も活発に活動をしています。新型コロナウィルス感染症の対策をして移動研修を計画している専門講座もあります。随時、申し込みを受け付けておりますので、興味・関心のある講座がありましたら市民センター窓口までお声がけください。

ぼうさい探検マップの活動が副読本に掲載されました

平成18年度に中里放課後子ども教室で取組んだ「ぼうさい探検マップ」の活動が、岩手県教育委員会の教育プログラム「いわての復興教育」の副読本に掲載されました。

避難ルートや過去の水害の被害などをマップにまとめた活動や土砂崩れの危険性を立体的に表現して、地区民文化祭で発表することで防災意識を啓発する取組みなどが紹介されています。

この副読本を通じて、ぼうさい探検での活動を岩手の子ども達の学びに活かしてほしいです。



ぼうさい探検マップ作成した6年生

中里放課後子ども教室 正しい手洗い教室を実施(6/11)

中里放課後子ども教室では、新型コロナウィルス感染症を予防する術を学び、安心して活動ができるように「正しい手洗い教室」を実施しました。

岩手医科大学附属病院内丸メディカルセンターの高橋幹夫先生をお迎えして「感染症の予防について」の説明を受けた後、「手洗いの確認」を実施しました。

「手と顔はお友達なので、感染しないためには手洗いはとても大切です」「ウィルスは泡でやっつけることができます」など、とてもわかりやすく説明をしていただきました。

手洗いの実践では、普段通りの手洗いをした後「ばい菌発見マシーン」で洗い残しがあるかをチェック。爪の生え際や手のひらなど洗い残しを確認できました。高橋先生から「手洗いの合格」をもらえた子ども達は、自信と安心を得ることができました。手洗いは大切!これから活動でもしっかり手洗いをしていきます。

《手洗いのポイント》

- 1 洗う前にしっかりぬらすこと
- 2 しっかり泡を立てて洗うこと
- 3 洗った後はしっかり拭くこと



講師 高橋先生と手洗いをしている子ども達

中里小・鶴舞発表会 放映決定！

去る6月2日に中里小学校において、鶴舞発表会が行われました。新型コロナウィルス感染症対策のため、運動会は中止になりましたが、5・6年生の「鶴舞の伝統を下級生に継承したい！」という熱い思いから、鶴舞発表会が企画されました。今でも実施できる方法を検討し、保護者の手を借りず、児童がひとりで着ることにしました。初めは「蝶結び」も難しいようでしたが、本番では着付けの手順もしっかり覚え、立派に支度ができました。踊りはとても躍動感のある、素晴らしい舞いです。

こんな状況でもできる！伝統を継承する！この経験は子ども達の貴重な財産になりました。この様子が特別番組として放映されます。中里の宝「鶴舞」の新たな1ページ。お見逃しなく！

期日 7月4日（土） TV局 一関ケーブルネットワーク

